

訓練実施結果報告書

訓練名	津田沼駅周辺帰宅困難者等対策協議会帰宅困難者対応図上訓練
目的	<p>(1)帰宅困難者の対応における各機関の役割・手順の確認及び認識の共有 帰宅困難者発生時の各機関の役割や状況に応じた対応の手順について、災害発生時から時間経過に応じた対応を確認し、各機関で認識の共有を図る。</p> <p>(2)帰宅困難者支援マニュアルの検証 帰宅困難者支援マニュアル(案)を基に、役割や手順の確認を行う中でマニュアルの検証を図り、必要に応じた修正を加える。</p>
日時	平成25年7月26日(金)午後3時00分～午後5時00分
会場	習志野市消防本部庁舎 5階講堂
参加者等	<p>(1)訓練参加者 協議会委員54名(内 習志野市危機管理課5名) ※参加者の詳細は別紙「訓練当日出席者名簿」のとおり</p> <p>(2)報道機関 3社(千葉テレビ・朝日新聞・船橋よみうり新聞) ※当日午後9時30分から千葉テレビ「ニュースチバ930」で放映(放映時間約3分)</p> <p>(3)見学者 1名</p>
実施項目	<p>災害想定を基に、時間経過ごとに付与された状況に対し、各機関における帰宅困難者の対応について、実施主体のグループごとに検討した内容を発表する。</p> <p>(1)災害想定 「東京湾北部地震(M7.3)」7月26日午後6時⇒夕方の帰宅時間に発災 ※帰宅困難者が多数発生することを想定した時刻を設定</p> <p>(2)訓練の流れ ①状況付与 → ②グループ討議・検討 → ③発表 → ④対応・動きの確認 その他実施要領の詳細については、別紙「次第」以下訓練資料のとおり。</p>
訓練を実施しての所感 (事務局)	<p>(1)本訓練は、1年間かけて検討してきた対策を振り返り、各機関の対応における役割や手順の確認を行い、改めて認識の共有を図ること及び、作成した帰宅困難者支援マニュアル(案)が機能するかの検証を図ることを目的に実施した。 参加者から出た意見からすると、各機関は概ね対応や動きを理解していることが伺えたため、訓練の目的は達成できたと考えます。</p> <p>(2)また、各機関からの意見を聞くことで、それぞれの機関の出来ることや出来ないことを理解することができ、関係機関が『連携』することの必要性や、情報の共有の大切さを改めて確認することが出来た。</p> <p>(3)目的の一つである帰宅困難者支援マニュアルが機能することも確認ができたため、本訓練を踏まえた最終的な仕上げの作業を事務局にて進める。</p> <p>(4)今後は、各機関の対策や対応をより具体化するため、各機関の対応マニュアルを作成してもらい、市としても各機関と連携して、通信機器や備蓄物資等の必要な準備を進めていくこととする。</p>

<p>今後の 進め方</p>	<p>【平成25年8月中】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 奏の杜フォルテに協議会への加入を依頼する。 (2) 帰宅困難者支援マニュアルについて、各機関からの合意を得る。 (3) 各機関でマニュアルを共有し、市ホームページで公開する。 <p>【来年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 年1回の協議会開催(顔合わせを兼ねる) (2) 緊急時連絡先一覧表の更新 (3) 年1回の通信情報伝達訓練の実施 (4) 年1回の帰宅困難者対応訓練の実施 <p>※その他、国や県の動向により、必要に応じた取り組みを実施する。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>企画政策部危機管理課 電話番号:047-451-1151(内線 561)</p>